

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症との相違

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
症 状 の 有 無	ワクチン接種の有無などにより 程度の差があるものの、しばしば 高熱を呈する	発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障 害を伴うことがある
潜 伏 期 間	1～2日	1～14日（平均5.6日）
無 症 状 感 染	10% 無症状患者では、ウイルス量は少 ない	数%～60% 無症状患者でも、ウイルス量は多 く、感染力が強い
ウイルス排出期間	5～10日（多くは5～6日）	感染力があるウイルス排出期間 は10日以内 ※遺伝子は長期間検出
ウイルス排出のピーク	発病後2、3日後	発病1日前
重 症 度	多くは軽症～中等症	重症になりうる
致 死 率	0.1%以下	3～4% ※国内の患者は2%以下(10/9現在)
ワ ク チ ン	使用可能だが、季節毎に有効性は 異なる	現時点で有効なワクチンなし (開発中)
治 療	オセルタミビル、ザナミビル、ペ ラミビル、ラニナミビル、バロキ サビル マルボキシル	軽症例については、確立された治 療薬はなく、多くの薬剤が臨床治 験中
A R D S の 合 併 症	少ない	しばしば見られる

※1 「今冬のインフルエンザと COVID-19 に備えて」(一般社団法人日本感染症学会提言)
を元に作成

※2 A R D S…急性呼吸窮迫症候群（重篤な呼吸不全が現れる病気の1つ）